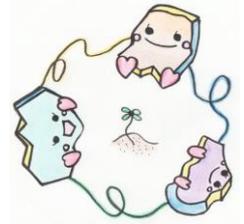


東北復興 PSW にゆうす



「復興支縁ツアー in みやぎ」が2015年3月21～22日に開催されました。今回はツアーの様子を中心にお届けします。

復興支縁ツアーin みやぎを開催して 東日本大震災復興支援委員会 長谷諭（宮城県支部）

震災から4年を経過した3月21～22日の2日間にかけて、復興支縁ツアーin みやぎが開催されました。全国各地から多くの皆様に参加いただき、宮城の「いま」をごく一部ではありますが、見ていただけたものと感じています。

1日目は震災後石巻市に開設された「からころステーション」にて、海鮮丼を食べながらのランチオンセミナーを行いました。同ステーションのスタッフの方よりこれまでの取り組みとこれからの展望についてお話しいただき、続いて東松島市の保健師さんと現在同市で活動をしている精神保健福祉士の方（みやぎ心のケアセンターより派遣）から、震災当初の全国からの支援活動や現在の活動についてのお話を伺いました。自らも支援を展開しながら支援を受ける側でもあるという2重構造の中で、「地元にいる自分達を尊重してもらえたことが嬉しかった」「自分自身のマネジメントができている人達の支援はとても助かった」などの肯定的な話があった一方、「現場の支援者の意向やニーズに合わない支援」や「報道や噂を鵜呑みにした“推察”による支援」、「支援者自身が自分に対するケアや準備が不十分」な場合には困惑したこともあったとの話も聞かれました。また「支援内容は必ずしも心理的な支援でなくても良い。生活支援がメンタル面の支援になりうる。」との言葉もあり、これらは私たちが常日頃から行っているソーシャルワークに通じるものであるということに改めて実感しました。

2日目は県南山元町にある「工房地球村」や関連施設の視察と語り部ガイドの話を伺いながらの互理町沿岸部視察を行いました。「地域の人々が集える場所を」との目的で震災後に作られた「カフェ地球村」の美味しいコーヒーを飲みながら、「ニーズから出発すること」の体現を目の当たりにし感銘を受けている参加者や、語り部の言葉に真剣に耳を傾けている様子がとても印象的でした。

タイトなスケジュールではありましたが、参加された皆様や地元の間のご協力のおかげで、無事にツアーを終了することができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。今回のツアーをきっかけにまた東北の地に足を運んでいただけたら幸いです。



からころステーション前にて集合写真



カフェ地球村



山元町工房地球村にて

ツアー参加者の感想

現在の支援状況がわかりやすかった。また、協会の支援活動がひとつの市を変える力になることができたということが聞けて、一人の会員として嬉しかった。

被災地のソーシャルワーカーの役割について確認できた。内容が濃くとても有意義だった。もう少し1箇所にいられる時間が長いと嬉しかった。

被災直後の支援や他からくる支援団体に望むこと、支援者の自己管理などについてとてもわかりやすく話してもらったと思います。

発表を聞きながら涙がこみあげました。グループワークが出来なかったのが残念でしたが、懇親会でいろいろ話せたのでよかったです。二次会も楽しかったです。



亘理町沿岸の鎮魂碑



1日目の昼食「女川井」



「その地を訪れる」「そこに生きる人を知る」ことが何よりも大切だと改めて思いました。そしてそこに思いをよせて集まった仲間との繋がりも深められてよかったです。まさに「支縁」でした。「支援者支援」という形でも仲間としてずっとずっと思い続け、共に頑張りたいと思います！

体験談はこころに染みます。これからの自分自身についても考えてしまうくらい心が動きました。バスから降りて実際に見れたのもよかったです。

語り部さんの大切な思いを聞くことができた。復興支援はまちづくりだと思っていたが、地球村の取り組みはとても素晴らしいと思った。

これまでの支援に感謝！これからもよろしくをお願いします。



～1日目～
東松島市のアンテナショップにも立ち寄りました

～2日目～
震災後に出来た防潮堤に上り沿岸部を一望



あたたかいおもてなしをありがとうございました。また絶対に来ます！この体験をいろんな人に伝えます！「復興」なんてまだまだなんだということが実際に足を運ぶことでわかりました。また、必ず訪れたいです。忘れず応援いたします。がんばってください。

今後の予定

6月25～27日 第51回(公社)日本精神保健福祉士協会全国大会・第14回日本精神保健福祉士学会学術集会(福島大会)



福島で待っています

【テーマ】 共生・創造・未来～はじめよう、ここから！

☆皆さんからのメッセージを募集します☆

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。本誌へのご意見・ご感想も大歓迎です。本紙面や協会ウェブサイトにてご紹介させていただきます(原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません)。お届け先は東日本大震災復興支援委員会へ FAX もしくは E-mail にてお願いいたします。E-mail: office@japsw.or.jp * 題名に「PSW にゆうすについて」とご記入をお願いします。

第16号 2015年5月15日発行

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

URL: <http://www.japsw.or.jp/>